

寺
ごよみ

一月

一日 年頭参り
十二日 成人のお祝い
一四日 法要準備

御正忌

一五日

午前十時 下村お講
午後一時 法要

一六日

午前十時

浦山・栃屋・熊野・
大橋お講

午後一時 法要

講師：文殊康明師

善能寺副住職

二五日 仏婦総会・新年会

寺 報

善 巧

ぜん ぎょう

発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497

白雪山 善巧寺

TEL (0765) 65-0055

FAX (0765) 65-0975

URL <http://www.zengyou.net>



一月十五・十六日
御正忌
ごしゅうき

親鸞聖人の祥月命日

お寺はみんなの共有場所、おひとりおひとりが善巧寺を「わたしのお寺」と受け取って欲しいという願いを込めて、「みんなのお寺、わたしのお寺」をスローガンに立ててはや五年が過ぎました。事業も一通り終えて、その千秋楽となる親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を無事終了しました。皆様の尽力によって大きな節目を迎えられたこと、改めて感謝申し上げます。

750回大遠忌法要

初日の帰敬式では、途中から雨が降り参拝者にはご苦労をおかけすることになりましたが、親鸞聖人が薄暗い夕方に得度をしたという逸話から本堂内の照明を落とすため、あいにくの雨がより雰囲気をつくってくれました。

二日目は、天気にも恵まれて庭儀（稚児行列）から大遠忌法要。受付や本堂では袴を着用した総代さんが出迎え、午後一時より雅楽の音色に導かれて、華やかなお稚児さん、僧侶、袈裟の総代や留袖の婦人会など、賑やかな行列となりました。

法要では、出内陣を組み参拝者の目の前まで僧侶が並び、大阪・顕証寺様に習い華葩（けは）を大量に撒きました。おつとめのラストには、奏楽員八名が出内陣の前列まで登場され、楽曲「千秋楽」で締められました。法話は、二日間にわたり天岸浄圓師にお話いただき、法要全体に心が通うものとなりました。

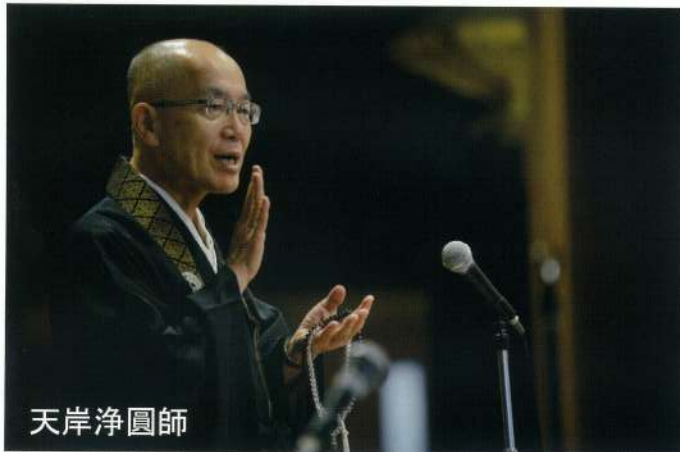
たくさんの方が法要を支えてくださり、改めてお寺の底力を感じます。今後には活かせるように、このたびの法要を深く受け止めたいと思っています。

善巧寺住職
雪山俊隆





親鸞聖人750回 大遠忌法要勤修



天岸浄圓師



100年前「650回忌」の記念打敷を使用
松一式の仏華は景内ただ1人となった職人幸邑さん作







帰敬式



仏弟子の名「法名」を頂く帰敬式。参加したかったのにうっかり忘れていた！という声を何人も聞いております。善巧寺においての帰敬式はこの先しばらく予定はありませんので、ぜひ本願寺へお参り下さい。ほぼ毎日午前と午後の二回行われています。（一月一日、十六日の午前、一月八日、十二月二十日は除く）内願をご希望の方は参加予定日の二ヶ月前までに善巧寺より申請が必要となりますのでご相談下さい。



大法宝の初日、本堂修復落慶法要では、修復の功労者として、酒井匠工務店と、天井画を制作された清河恵美さんに感謝状が授与されました。

感謝状授与

十月十二日



善巧寺十一世、明教院僧鎔のご法事「空華忌」が勤まりました。僧鎔の流れを汲む私塾「行信教校」より藤澤信照師をご講師に迎え、浄土真宗のご信心についてお話いただきました。浄土真宗においては、なにはさておき、法話を聞くことが重要視されます。

空華忌

十一月十五、十六日



寺
ごよみ

二月

- 一日 浦山お講
- 一日 生地・荻生・
- 二日 植木報恩講
- 四日 下立お講
- 六日 舟見報恩講
- 二〇日 入善報恩講
- 二一日 熊野・柝屋報恩講
- 二六日
- 二七日

寺
ごよみ

三月

- 一日 浦山お講
- 三日 三市報恩講
- 六日
- 一〇日 下立報恩講
- 一二日 柝沢お講
- 一六日
- 一七日 浦山報恩講
- 一八日
- 二〇日 浦山報恩講
- 二一日 雪ん子定期公演
- 二二日 浦山報恩講
- 二四日
- 二六日 浦山報恩講
- 二八日
- 三一日

御正忌

親鸞聖人の祥月命日に行
われる厳粛な法要

一月十五日 午前十時 お講

午後一時 日中法要

十六日 午前十時 お講

午後一時 ご満座法要

講師 文殊康明師

善能寺副住職



法名は見える場所に！

「法名は仏壇の奥の奥に閉まつておかず、見えるところに飾ってみてはいかがでしょう？」

子としての尊いお名前。あなたも、ぜひ見える場所に置いてみませんか？

帰敬式にて、天岸浄

圓先生よりこのようなご提案を頂きました。

後日、ほんこさまの

折、早速実践されてい

る方が数名おられました。

素晴らしいです！

せっかく頂いた仏弟



年頭参り

一月一日午前八時頃

御正忌準備

一月十四日午前八時半

雪ん子劇団

春の定期公演

三月二十三日午後四時

冬季の参拝入口



本堂正面の三角雪囲いは検討中につき、冬季中の参拝入口は集会所玄関となります。切り替え時期にあたり、来期までには整える予定ですので何卒ご了承下さい。

大遠忌法要の写真が本堂に張り出しております。



合 掌

七百五十回大遠忌法要、並びに本堂修復落慶法要が無事に終わり、お寺はひと段落しています。現在本堂に法要の写真が貼り出してあります。ぜひご覧ください。

※ ※ ※

前号にもお知らせしたJRの月刊誌「ジパング倶楽部」に大きく掲載された影響が予想以上で、昨年は秋頃から天井画の観覧者が続きました。これも記念事業のひとつの成果と喜んでいきます。

※ ※ ※

一月十六日は親鸞聖人の祥月命日です。本願寺では御正忌報恩講として一週間つとまっております。善巧寺では十五日より二日間です。寒い時節ではありますが、どうぞお待ちしております。

